さあ、街から未来をかえよう
三井不動産グループ
MITSUI FUDOSAN GROUP

NEWS LETTER

三井不動産グループの
&EARTH

2026 年 11 月 24 日

三井不動産レジデンシャル株式会社

「HARUMI FLAG」の緑と生きものを教材に、約 200 名の小学生が自然との共生を学ぶ

&EARTH 教室「みらいをつくる授業」を開催

～晴海西小学校の 5 年生を対象に、専門家による講義や体験型ワークショップを実施～

&EARTH 教室「みらいをつくる授業」取り組みのポイント

1．HARUMI FLAG のまち全体を教材に、緑が育む「人と生きものの共生」を学ぶ授業を開催。
2．植物・昆虫・野鳥の専門家が、身近な自然の魅力を解説。
3．観察・創作・香りの体験型ワークショップを通じて、身近な自然を自分ごととして捉える機会を提供。

三井不動産レジデンシャル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：嘉村 徹）は、2026 年 11 月 18 日（水）、中央区立晴海西小学校の 5 年生約 200 名を対象に、&EARTH 教室「みらいをつくる授業」を実施しました。

本授業は、子どもたちが自分たちの暮らす HARUMI FLAG を学びの場として、豊かな自然やそこに生息する生きものに触れる環境教育プログラムです。生物多様性の保全・回復を目指す「ネイチャーポジティブ」への関心が高まるなか、人と自然が共生するまちづくりについて学び、自らが暮らす新しいまちへの理解を深め、まちへの誇りと愛着を育むきっかけとなることを目指して実施しました。授業の前半では、HARUMI FLAG における環境緑化の考え方や、生きもののすみか・移動を支える緑の役割、生きものと共生するまちづくりについて学ぶ講義を実施しました。後半では、昆虫・野鳥・樹木・香りをテーマに、昆虫の観察や落ち葉を使ったしおりづくり、樹名板づくり、ポプリづくりなどの体験型ワークショップを行いました。

当社は今後も、すまいとまちづくりの視点から、子どもたちが自然や地域とのつながりを学び、持続可能な社会の担い手となるきっかけを創出する環境教育に取り組んでまいります。

三井不動産レジデンシャルの全住宅事業のブランドコンセプトである「Life-styling × 経年優化」のもと、多様化するライフスタイルに応える商品・サービスを提供するとともに、安全・安心で快適にくらせる街づくりを推進し、持続可能な社会の実現・SDGs へ貢献してまいります。



授業の様子

１．HARUMI FLAG のまち全体を教材に、緑が育む「人と生きものの共生」を学ぶ授業を開催

HARUMI FLAG では、開発段階から生物多様性に配慮した植栽計画を心がけ、中高木（在来種中心）を合わせて約 4,500 本を植栽。既存樹の移植、まとまった緑地の確保と草地による開放的な広場などの整備や、小動物の生息場所、水辺、既存樹木を活用した再生ベンチ・スツール・バードバス・巣箱など、積極的に環境配慮の取り組みを進めてきました。入居開始から約 3 年を経た現在、既存のまちから受け継ぐ並木や、人の交流と思い出を育む桜、生きもののすみかや移動を支える樹林・草地・水辺など多様な緑が育まれ、生きものが利用する環境も形成されています。子どもたちは、通学路や公園、歩道など、日常的に利用する場所に目を向けながら、まちに息づく自然の役割と、生きものとの共生について学びました。

＜HARUMI FLAG での主な環境認証取得・受賞歴＞

・自然と人との共生を企業活動において促進することを目的とした 「ABINC ADVANCE」の認証取得（2018 年）

・公益財団法人 都市緑化機構が主催する「緑化技術コンクール」において環境大臣賞を受賞（2026 年）



２．環境教育・自然番組の専門家が、植物・昆虫・野鳥の視点から身近な自然を解説

星槎大学の尾上伸一氏は、植物・昆虫・野鳥が互いに関わり合いながら生きる仕組みを紹介。講義に先立ちHARUMI FLAG での植物や昆虫をはじめとする多様な生きものの生息を確認し、都心にありながら豊かな自然が息づく貴重で魅力的な環境であることや、身近な自然に目を向けることが、生きものとの共生や地域の環境を大切にする意識につながることを子どもたちに伝えました。

自然番組制作者の小野泰洋氏は、HARUMI FLAG での生息が確認された野鳥を紹介するとともに、野鳥が好む「多様なすみか」「食べもの」「安全な環境」という視点から HARUMI FLAG の自然環境の魅力や、都心に新たに生まれた環境都市のフロンティアとして、子どもたちがこのまちとともに成長していくことへの期待、都心にありながら多様な生きものが暮らす自然環境の素晴らしさを伝えました。



■講師　尾上伸一（おのえしんいち）

星槎大学共生科学部非常勤講師、元・横浜市立小学校校長。横浜市立小学校の教員・校長として長年勤務し、学校ビオトープや校庭の里山化など、自然体験を軸とした環境教育を実践。現在は大学での講義・研修、地域での自然体験活動等を通じ、子どもと自然、地域をつなぐ活動を続けている。



■講師　小野泰洋（おのやすひろ）

元・NHK エンタープライズ自然科学番組プロデューサー。NHK および NHK エンタープライズにおいて、野生動物の生態や自然と人間の関わりをテーマとする番組を数多く手がけた。「ワイルドライフ」「ニッポンの 里山」の制作、「ダーウィンが来た！」の展開などに携わってきた。

３．観察・創作・香りの体験型ワークショップを通じて、身近な自然を自分ごととして捉える機会を提供

子どもたちは、昆虫の観察と落ち葉を使ったしおりづくり、野鳥のひみつを学ぶプログラムとどんぐりクラフト、学校周辺の樹木を題材にした樹名板づくり、香りを楽しむポプリづくりなどを体験しました。見る・触れる・つくる・香るといった体験を通じ、自然との関わりを自分ごととして考え、まちへの愛着を育むきっかけとなりました。









■イベント概要

名称	&EARTH 教室「みらいをつくる授業」
日程	2026 年 11 月 18 日（水）
会場	中央区立晴海西小学校 体育館（東京都中央区晴海 5 丁目 3-5）
参加者	晴海西小学校 5 年生 約 200 名
主催	三井不動産レジデンシャル株式会社
講義	HARUMI FLAG の環境緑化／自然となかよくなるための学び／野鳥から見た HARUMI FLAG
ワークショップ	昆虫：生きもの観察・しおりづくり／野鳥：野鳥のひみつ・どんぐりクラフト 樹木：学校の木の樹名板づくり／香り：かおりのポプリづくり
講師	尾上伸一氏（星槎大学 非常勤講師）／小野泰洋氏（自然番組制作者）
協力	晴海西小学校、住友林業緑化株式会社、イビデングリーンテック株式会社

■＆EARTH 教室「みらいをつくる授業」について

「＆EARTH 教室」は、三井不動産グループの掲げる「&EARTH」の理念のもと、「すまい」や「まちづくり」の視点から『身近にできる ECO』や『地域コミュニティの大切さ』そして『自然の力を利用した快適な生活の工夫』などを伝え、地球と仲良く暮らすライフスタイルの提案と、サステナブルパーソンの育成を目的とした環境教育プログラムです。＆EARTH 教室「みらいをつくる授業」は「＆EARTH 教室」の環境教育プログラムを講義やワークショップ等のイベント形式に発展させ、さまざまな環境問題を取り扱うものです。

■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「＆マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によってさらに大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1.産業競争力への貢献」、「2.環境との共生」、「3.健やか・活力」、「4.安全・安心」、「5.ダイバーシティ＆インクルージョン」、「6.コンプライアンス・ガバナンス」の 6 つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】・「グループ長期経営方針」

https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/

・「グループマテリアリティ」

https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/

・「＆ EARTH for Nature」

https://www.mitsuifudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/

また、2025 年 4 月に、街づくりにおける環境との共生宣言「＆ EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。 本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の 5 つを定めています。本リリースの取り組みは、「＆ EARTH for Nature」における重点課題の 1 つに貢献しています。



地域の想いをつなぐ

■三井不動産レジデンシャル「カーボンニュートラルデザイン推進計画」について

https://www.mfr.co.jp/content/dam/mfrcojp/company/news/2022/0315_01.pdf

すまいの高性能・高耐久化による省エネルギーの実現や、再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、ご入居後のくらしにおいても、楽しみながら省エネルギー行動等の環境貢献に取り組んでいただけるようなサービスの提供を推進し、すまいとくらしの両面からカーボンニュートラルの実現を目指していきます。